

授 業 科 目	講 師 名	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
物理学	非常勤講師	1	15	7	試験1回

学習 目標	物理的現象の基礎理論を医療・看護と結び付けて学び、看護場面に活用する能力を養う。				
回数	学 習 内 容			学習方法	
1	力学と身体	物理学の導入、看護と力学、静力学、人体と力、身体バランス		講義	
2	人の運動	動力学、運動学、動作解析、運動と生活活動		講義	
3	熱とエネルギー代謝	体温、人体と熱		講義	
4	圧力と循環・呼吸	循環器系の解剖生理、医療機関		講義	
5	音と光	耳と聴覚、発声、眼の解剖生理、視覚認知		講義	
6	電磁気と波	神経、波の性質と超音波		講義	
7	画像診断と放射線	画像化、放射線と人体への影響		講義	
8	試験	筆記試験，テキスト，講義資料持込可			
評価 方法	出席状況、筆記試験				
参考 文献 資料	木下順二：医療系のための物理学入門．講談社				
備考					

授 業 科 目	講 師 名	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
論理的思考と表現法	非常勤講師	1	15	7	試験1回

学習目標	日本語のコミュニケーション能力を高めることは、社会人として重要である。この授業では基礎的な知識を確認し、論理力と表現力の向上を目標に、話したり、書いたりする。				
回数	学 習 内 容				学習方法
1	オリエンテーション 自己紹介				講義
2	原稿用紙の書き方				講義
3	原稿用紙の書き方				講義
4	引用文				講義
5	要約文・接続関係				講義
6	グラフ				講義
7	3段構成				講義
8	試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	授業中に提出した課題（75%）、テスト（25%）で評価する。				
参考文献資料	江原勝幸『看護学生のためのレポート書き方教室』照林社				
備考	授業は人前で話したり、文章を書いたりする活動が中心となる。慣れることで苦手意識を少しでも克服してほしい。				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
情報科学 I (情報リテラシー)		1	15	7	試験1回

学 習 目 標	情報通信技術 (ICT) を安心、安全に活用するための基礎的能力を身につける。				
回 数	学 習 内 容			学 習 方 法	担 当 講 師
1	社会と情報	情報と社会		講義	
2	情報と倫理	情報倫理		講義	
3	情報と倫理	個人情報保護		講義	
4	情報と倫理	コンピューターリテラシーとセキュリティ		講義	
5	既存の情報の収集方法	文献を探す方法		講義	
6	既存の情報の収集方法	インターネットで役立つ情報へのアクセス		講義	
7	既存の情報の収集方法	データ検索と利用		講義	
8	試験				
評 価 方 法	終講試験 100%				
評 価 基 準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)				
参 考 文 献 資 料	講師より配付				
備 考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
情報科学Ⅱ		1	15	7	試験1回

学習 目標	情報の整理、統計処理の基礎的能力を身につける。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	ガイダンス	講義・演習		
2	Word・Excel・PowerPointの基本的な使い方	講義・演習		
3	WordとExcelを使ったレポート作成	講義・演習		
4	WordとExcelを使ったレポート作成	講義・演習		
5	平均と分散	講義・演習		
6	検定の考え方	講義・演習		
7	アンケート作成、データ処理	講義・演習		
8	レポート・タイピングテスト			
評価 方法	課題評価 60% 技術テスト他 40%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料	講師より配付			
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数 (試験)	
社会学		1	30	15	試験1回

学習 目標	社会構造、社会現象、社会的行為について学び、人々の生活と社会の関係を理解する。				
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師		
1	社会学の基礎概念	講義			
2	内集団と外集団	講義			
3	ゲマインシャフト/ゲゼルシャフト	講義			
4	社会的分業	講義			
5	社会の同調様式	講義			
6	自殺論	講義			
7	家族と教育 (ジェンダー・子どもの誕生、Iとme)	講義			
8	家族と教育 (ジェンダー・子どもの誕生、Iとme)	講義			
9	社会化、ハビトゥス、学校化	講義			
10	社会化、ハビトゥス、学校化	講義			
11	職業とは	講義			
12	シャドーワーク、感情労働、消費社会	講義			
13	マクドナルド化	講義			
14	ナラティブ・アプローチ	講義			
15	試験 まとめ解説	講義			
評価 方法	終講試験 100%				
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)				
参考 文献 資料	マイノリティ問題から考える社会学・入門				
備考					

	講師名(実務経験)	単位	時間	回数(試験)	
心理学		1	30	15	試験1回

学習目標	人間の心の発達と働きを社会との関連から学び、社会的存在としての人間を理解する。				
回数	学習内容			学習方法	
1	心理学とは			講義	
2	性格・知能の心理			講義	
3	集団における人間関係			講義	
4	集団のはたらき、感情・欲求・動機づけ			講義	
5	感情・欲求、動機づけ			講義	
6	自己意識・自己概念、適応と適応機能			講義	
7	前半まとめ			講義	
8	感覚・知覚			講義	
9	記憶			講義	
10	対人認知と対人関係 友人関係			講義	
11	対人認知と対人関係 恋愛関係			講義	
12	発達原理と影響要因			講義	
13	生涯発達			講義	
14	医療における人間関係 ストレスとその対処			講義	
15	終講試験 まとめ			講義	
評価方法	終講試験 100%				
参考文献資料備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
文化人類学		1	30	15	試験1回

学習目標	文化人類学の基礎的知識を学び、人間理解や社会関係構築に必要な能力を養う。				
回数	学 習 内 容			学習方法	担当講師
1	人間と文化	文化人類学とは		講義	
2	個人・家族・ 家族を超えた つながり	個人と社会		講義	
3		家族と家族以外		講義	
4	人生と通過儀 礼	ライフサイクルと境界理論		講義	
5		生活の中での通過儀礼（誕生・成熟）		講義	
6		生活の中での通過儀礼（結婚・葬式）		講義	
7	宗教と世界観	宗教		講義	
8		伝統		講義	
9		宗教と世界観		講義	
10	健康と医療	健康と文化		講義	
11		健康と文化		講義	
12	いのちと文化	いのちの多様性		講義	
13		誕生と死		講義	
14		生命観		講義	
15	まとめ/試験			講義	
評価方法	終講試験 100%				
評価基準	A：80点以上 B：70点以上80点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満（不合格）				
参考文献資料					
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数 (試験)	
教育学		1	30	15	試験1回

学習目標	教育学の基礎を学び、看護場面における教育活動が実践できる能力を養う。				
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師		
1	オリエンテーション	講義			
2	教育とは	講義			
3	教育を社会の視点から考える①	講義			
4	教育を社会の視点から考える②	講義			
5	学ぶこと・教えること①	講義			
6	学ぶこと・教えること②	講義			
7	健康と教育①－健康とは？／グループ作り	演習			
8	健康と教育②－健康講座づくり	演習			
9	健康と教育③－ミニ講座の実践	演習			
10	健康と教育④－ミニ講座の実践	演習			
11	ケアと教育－人間形成①	講義			
12	ケアと教育－人間形成②	講義			
13	特別なニーズをもつ子ども・人と向き合う	講義			
14	看護と教育、全体の学びの振りかえり	講義			
15	試験/まとめ	講義			
評価方法	課題評価 50% 終講試験 50%				
評価基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)				
参考文献資料	新体系看護学全書基礎科目 教育学, メヂカルフレンド社				
備考					



授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
人間行動学 I		1	15	7	試験1回

学習目標	人間の行動の意味と原理を学び、対人関係のあり方を理解する。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	実習「五感をつかって」	講義・演習		
2	実習「五感をつかって」	講義・演習		
3	実習「わたしMap」	講義・演習		
4	実習「わたしMap」	講義・演習		
5	実習「出会いのころみ」	講義・演習		
6	実習「出会いのころみ」	講義・演習		
7	実習「私の文章完成」	講義・演習		
8	まとめ	講義		
評価方法	課題評価+平常点 100%			
評価基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考文献資料	グループファシリテーターの会Seeds監修：「今ここ」を生きる人間関係, ナカニシヤ出版			
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数 (試験)	
人間行動学Ⅱ		1	30	15	試験1回

学習 目標	効果的なコミュニケーションができるための方法と実際を、体験を通して学ぶ。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	オリエンテーション 実習「2つの窓」 体験から学ぶとは	講義・ 演習		
2	実習「名画鑑賞」 コンテンツとプロセス	講義・ 演習		
3	実習「タワービルディング」 グループを視る視点	講義・ 演習		
4	PM理論	講義・ 演習		
5	実習「チームラリー」	講義・ 演習		
6	場の理論	講義・ 演習		
7	実習「新説・桃太郎」	講義・ 演習		
8	コンセンサスの意義	講義・ 演習		
9	実習「富士山噴火」	講義・ 演習		
10	価値観と人間関係	講義・ 演習		
11	実習「ブロックモデル」	講義・ 演習		
12	シェアドリーダーシップ	講義・ 演習		
13	実習「グループ表現」	講義・ 演習		
14	今後の目標づくり	講義・ 演習		
15	振り返り まとめ	講義・ 演習		
評価 方法	課題評価 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料	グループファシリテーターの会Seeds監修 : 「今ここ」を生きる人間関係, ナカニシヤ出版			
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数 (試験)	
カウンセリング論		1	15	7	試験1回

学習 目標	カウンセリングの基礎理論を学び、看護実践に活用できる能力を養う。				
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師		
1	実習「私の対人コミュニケーションの棚卸し」	講義・ 演習			
2	効果的コミュニケーションのための5つの要素	講義・ 演習			
3	実習「たずね・こたえ・観察する」	講義・ 演習			
4	アンガーマネジメント	講義・ 演習			
5	アサーション	講義・ 演習			
6	コーチング	講義・ 演習			
7	ロールプレイ実習	講義・ 演習			
8	まとめ	講義			
評価 方法	課題評価+平常点 100%				
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)				
参考 文献 資料	グループファシリテーターの会Seeds監修：「今ここ」を生きる人間関係，ナカニシヤ出版				
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
生命倫理学		1	15	7	試験1回

学習 目標	人間の尊厳、生命観・死生観を文化との関連から学び、現代医療の提起している問題について考えを深める。				
回数	学 習 内 容			学習方法	担当講師
1	生命倫理学とは	生命倫理学とは 倫理学の基礎理論		講義	
2	生命倫理を学ぶ目的	インフォームド・コンセント、患者の自己決定		講義	
3	生命倫理を学ぶ目的	生命倫理と家族		講義	
4	生殖補助医療	出生前診断・着床前診断		講義	
5	遺伝子技術	遺伝子医療		講義	
6	移植医療	臓器移植		講義	
7	安楽死・尊厳死	治療行為の中止・安楽死・尊厳死		講義	
8	試験				
評価 方法	終講試験 100%				
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)				
参考 文献 資料	講師より配付				
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
健康と運動		1	15	7	試験1回

学習 目標	健康生活における運動の意義と方法を学び、看護実践に活用できる能力を養う。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	健康づくりの基礎理論	講義・ 演習		
2	歩く	講義・ 演習		
3	呼吸法	講義・ 演習		
4	筋力トレーニング	講義・ 演習		
5	有酸素運動	講義・ 演習		
6	からだの声を聴く	講義・ 演習		
7	こころとからだを整える	講義・ 演習		
8	まとめ	講義・ 演習		
評価 方法	課題評価 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料				
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
英語 I		1	15	7	試験1回

学習 目標	看護・医療分野における英語を学び活用できる力を身につける。				
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師		
1	会話をつなげる、相手を知る、生年月日・職業など	講義・ 演習			
2	総合受付での会話、位置を表す前置詞	講義・ 演習			
3	院内案内をする	講義・ 演習			
4	症状を尋ねる	講義・ 演習			
5	様々な症状を表現する	講義・ 演習			
6	痛みについて尋ねる	講義・ 演習			
7	仕事内容や労働環境を尋ねる	講義・ 演習			
8	試験				
評価 方法	終講試験 100%				
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)				
参考 文献 資料	クリスティーンのやさしい看護英会話、医学書院				
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
英語Ⅱ		1	15	7	試験1回

学習 目標	実践的な英会話を学び、多文化に対応できる力を身につける。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	病歴 時の表現	講義・演習		
2	薬の服用 頻度の表現	講義・演習		
3	検査予約の取り方 検査に関する表現	講義・演習		
4	手術に関する表現 オリエンテーションの会話	講義・演習		
5	入院患者への質問 分数の読み方、マッチング	講義・演習		
6	ヘルスケアサポート (就業と疾病管理の両立支援のために)	講義・演習		
7	リスニングテスト 情報の確認、丁寧な依頼などの英語表現、SNS, 日常会話で使う英語	講義・演習		
8	試験			
評価 方法	終講試験 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料	クリスティーンのやさしい看護英会話、医学書院 東大病院発医療スタッフのための英会話、東大病院英語マニュアル出版プロジェクトチーム)			
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
形態機能学		1	30	15	試験1回

学習 目標	看護に必要な人体の形態と構造、正常な機能に関する知識を習得する。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	基礎知識・細胞と組織	講義		
2	皮膚と膜・血液	講義		
3	消化器系	講義		
4	内分泌系	講義		
5	生殖と発生	講義		
6	骨格系	講義		
7	筋系	講義		
8	神経系	講義		
9	感覚系	講義		
10	免疫系	講義		
11	呼吸器系	講義		
12	心臓	講義		
13	血管	講義		
14	体液の調整と尿の生成	講義		
15	まとめ 試験	講義		
評価 方法	終講試験 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料	人体の構造と機能①解剖生理学, ナーシンググラフィカ			
備考				



授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
生活の中の形態機能		1	15	7	試験1回

学習 目標	生活行動の枠組みで人体の構造と機能を理解し看護実践に活用できる能力を養う。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	日常生活を支える形態機能	講義		
2	「動く」日常生活の基本的な動き	講義・演習		
3	「食べる」食べたいから消化吸収まで	講義・演習		
4	「息をする」吸って吐いてガス交換	講義・演習		
5	「トイレに行く」からだから出るもの	講義・演習		
6	「話す・聞く」言語的コミュニケーション	講義・演習		
7	「眠る」眠りは健康生活のバロメーター	講義・演習		
8	課題レポート			
評価 方法	課題評価 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料	看護形態機能学 生活行動からみるからだ, 日本看護協会出版会			
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数 (試験)	
生態栄養学		1	30	15	試験1回

学習 目標	生体の正常な営みを理解するための基礎的知識と生体に必要な栄養と代謝を学ぶ。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	生化学とは	講義		
2	糖質の構造と種類	講義		
3	二糖類、多糖類	講義		
4	脂質の構造と種類	講義		
5	中性脂肪、リン脂質	講義		
6	エネルギーの統合・核酸	講義		
7	タンパク質 (アミノ酸)	講義		
8	タンパク質立体構造	講義		
9	タンパク質立体構造とその異常による病気	講義		
10	酵素	講義		
11	アルコールの代謝、アイソザイム	講義		
12	糖の代謝	講義		
13	クエン酸回路他	講義		
14	リポタンパク質、プロスタグランジ	講義		
15	タンパク質・核酸の代謝、糖尿病の代謝	講義		
評価 方法	終講試験 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料	超入門 生化学・栄養学, 照林社			
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回数 (試験)	
病理学総論		1	15	7	試験1回

学習 目標	疾病の成り立ちと病態の特徴を理解する。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	循環	講義		
2	組織障害	講義		
3	免疫・炎症	講義		
4	感染症	講義		
5	腫瘍	講義		
6	代謝・先天異常	講義		
7	老化	講義		
8	試験			
評価 方法	終講試験 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料	ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学, メディカ出版			
備考				

授 業 科 目	講 師 名 (実務経験)	単 位	時 間	回 数 (試 験)	
病態生理学 I		1	30	15	試験1回
科目 目標	呼吸器系・運動器系の機能と構造、および代表的な疾患の病態生理・治療、検査を理解し、生活にどのような健康上の課題が生じるかアセスメントするための基礎的知識を習得する。 労災疾病等13分野の中の「脊髄損傷」「筋・骨格系疾患」「粉じん等によるアスベスト関連疾患」について、また職業生活の継続を脅かす疾患として「がん」について理解し、勤労者医療の基礎的知識を習得する。				
回数	学 習 内 容				
1	呼吸器の構造と呼吸の生理			呼吸器内科医	
2	呼吸器の症状と病態生理			呼吸器内科医	
3	呼吸器疾患における主な検査・処置			呼吸器内科医	
4	呼吸器疾患（感染・アレルギー・閉塞性肺疾患など）			呼吸器内科医	
5	呼吸器疾患（肺癌、悪性胸膜中皮腫、じん肺など）			呼吸器内科医	
6	運動器の構造と機能（骨・関節・神経・筋肉・腱・靭帯）			整形外科医	
7	運動器の疾患の症状、病態生理、診断・治療について			整形外科医	
8	外傷性の運動器疾患について（骨折、脱臼、捻挫、神経損傷）			整形外科医	
9	腰痛			整形外科医	
10	脊髄損傷			整形外科医	
11	骨腫瘍および軟部腫瘍			整形外科医	
12	末梢神経疾患、四肢および四肢帯の疾患			整形外科医	
13	呼吸器疾患（外科領域）			呼吸器外科医	
14	呼吸器疾患（外科領域）			呼吸器外科医	
15	運動器、呼吸器疾患と勤労者医療			専任教員	
評価 方法	終講試験 100%				
参考 文献 資料	ナーシンググラフィカEX疾患と看護①呼吸器, メディカ出版 ナーシンググラフィカEX疾患と看護⑦運動器, メディカ出版 勤労者医療概論、独立行政法人労働者健康安全機構勤労者医療に関する看護プロジェクト編著				
備考					

授 業 科 目	講 師 名	単 位	時 間	回 数 (試 験)
病態生理学Ⅱ		1	30	15 試験1回

学習 目標	循環器系、血液・造血器の機能と構造および代表的疾患の病態生理・治療・検査を理解し、生活にどのような課題が生じるかアセスメントする基礎的知識を習得する。 作業関連疾患として注目されている循環器系・血液造血器系の疾患、感染症または職業生活の継続を脅かす疾患としての「がん」について理解し、勤労者医療の基礎的知識を習得する。	
回数		担当
1	循環器・心臓疾患(虚血性心疾患 狭心症)	循環器内科医
2	循環器・心臓疾患(虚血性心疾患 心筋梗塞)	循環器内科医
3	血管の器質異常(動脈・静脈疾患)	循環器内科医
4	刺激伝導系の障害	循環器内科医
5	徐脈性不整脈・頻脈性不整脈	循環器内科医
6	ペースメーカー	循環器内科医
7	心不全の病態	循環器内科医
8	心不全の治療	循環器内科医
9	高血圧	循環器内科医
10	心臓弁脈症、心筋炎	循環器内科医
11	血液疾患(貧血)	血液病専門医
12	血液疾患(白血病)	血液病専門医
13	感染症(免疫)	検査科医師
14	感染症①	検査科医師
15	高血圧、虚血性心疾患、突然死、病原体による疾病と勤労者医療	専任教員
評価 方法	終講試験 100%	
参考 文献 資料	ナーシンググラフィカEX疾患と看護②循環器, メディカ出版 ナーシンググラフィカEX疾患と看護④血液/アレルギー・膠原病/感染症, メディカ出版 勤労者医療概論、独立行政法人労働者健康安全機構勤労者医療に関する看護プロジェクト編著	

授 業 科 目	講 師 名	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
病態生理学Ⅲ		1	30	15	試験1回

学習 目標	<p>消化器系の機能と構造および代表的疾患の病態生理・治療・検査を理解し、生活にどのような課題が生じるかアセスメントする基礎的知識を習得する。  職業生活の継続を脅かす疾患として「がん」について理解し、勤労者医療の基礎的知識を習得する。</p>				
回数					担当
1	食道・胃疾患				消化器内科医
2	腸・腹膜疾患①				消化器内科医
3	腸・腹膜疾患②				消化器内科医
4	胆道疾患 胆石症・胆管炎				消化器内科医
5	膵臓疾患				消化器内科医
6	肝疾患① 肝炎				消化器内科医
7	肝疾患② 肝硬変				消化器内科医
8	乳腺疾患①				外科医
9	乳腺疾患②				外科医
10	胃・食道疾患の手術				消化器外科医
11	消化器系の癌の治療（胆道系）				消化器外科医
12	消化器系の癌（肝臓）				消化器外科医
13	消化器系の癌（膵臓）				消化器外科医
14	肛門疾患				消化器外科医
15	急性腹症・腹部外傷				消化器外科医
評価 方法	終講試験 100%				
参考 文献 資料	<p>ナーシンググラフィカEX疾患と看護②循環器, メディカ出版  ナーシンググラフィカEX疾患と看護④血液/アレルギー・膠原病/感染症, メディカ出版  勤労者医療概論、独立行政法人労働者健康安全機構勤労者医療に関する看護プロジェクト編著</p>				

授 業 科 目	講師名(実務経験)	単 位	時 間	回数 (試験)
病態生理学Ⅳ		1	30	15 試験1回

学習目標	脳神経・女性生殖器の機能と構造および代表的疾患の病態生理・治療・検査を理解し、生活にどのような課題が生じるかアセスメントする基礎的知識を習得する。 職業生活の継続を脅かす疾患として、勤労者医療の基礎的知識を習得する。	
回数	学習内容	
1	脳神経系の構造と機能	神経内科医
2	意識障害	神経内科医
3	脳血管障害	神経内科医
4	脳・神経の変性疾患	神経内科医
5	認知症	神経内科医
6	交感神経・副交感神経	神経内科医
7	脳出血	神経内科医
8	女性生殖器について	産婦人科医
9	月経に関連する疾患 更年期障害	産婦人科医
10	子宮・卵巣の腫瘍	産婦人科医
11	性器の炎症・性感染症	産婦人科医
12	脳血管障害 (外科系)	脳神経外科医
13	脳血管障害 (外科系)	脳神経外科医
14	頭部外傷	脳神経外科医
15	脳血管疾患、女性のからだと勤労者医療	専任教員
評価方法	終講試験 100%	
参考文献資料	ナーシンググラフィカEX疾患と看護⑤脳・神経, メディカ出版 ナーシンググラフィカEX疾患と看護⑥女性生殖器, メディカ出版 勤労者医療概論、独立行政法人労働者健康安全機構勤労者医療に関する看護プロジェクト編著	
備考		

授 業 科 目	講 師 名	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
病態生理学V		1	30	15	試験1回

学習目標	<p>内分泌・代謝、腎・泌尿器系の機能と構造および代表的疾患の病態生理・治療・検査を理解し、生活にどのような課題が生じるかアセスメントする基礎的知識を習得する。  職業生活の継続をはかるため、就業と疾病コントロールの両立を支援する勤労者医療の基礎的知識を習得する。</p>				
回数	学習内容			担当	
1	腎臓の生理検査			腎臓内科医	
2	腎疾患（ネフローゼ・腎炎 腎不全）			腎臓内科医	
3	腎・尿路の感染症			腎臓内科医	
4	膠原病			リウマチ科医	
5	リウマチ			リウマチ科医	
6	内分泌総論（内分泌とホルモン）			糖尿病・内分泌医	
7	内分泌各論①（視床下部一下垂体前葉系疾患）			糖尿病・内分泌医	
8	内分泌各論②（副腎・性腺）			糖尿病・内分泌医	
9	糖尿病概論（疫学・分類・病態・診断）			糖尿病・内分泌医	
10	糖尿病 治療（食事・運動・薬物療法）、合併症			糖尿病・内分泌医	
11	その他の代謝疾患（肥満症・脂質異常・高尿酸血症）			糖尿病・内分泌医	
12	泌尿器疾患の構造と機能			泌尿器科医	
13	泌尿器系疾患の症状とその病態生理（尿の異常・排尿障害）			泌尿器科医	
14	尿路・性器の感染症			泌尿器科医	
15	糖尿病と勤労者医療			専任教員	
評価方法	終講試験 100%				
参考文献資料	<p>ナーシンググラフィカEX疾患と看護⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝, メディカ出版  ナーシンググラフィカEX疾患と看護④血液/アレルギー・膠原病/感染症, メディカ出版  勤労者医療概論、独立行政法人労働者健康安全機構勤労者医療に関する看護プロジェクト編著</p>				



授 業 科 目	講 師 名 (実務経験)	単 位	時 間	回 数 (試 験)	
病態生理学VI		1	30	15	試験1回

学習目標	耳鼻咽喉・口腔・皮膚・目の機能と構造および代表的疾患の病態生理・治療・検査を理解し、生活にどのような健康上の課題が生じるかアセスメントする基礎的知識を習得する。				
回数	学 習 内 容				担当医
1	眼科総論				眼科医
2	緑内障 白内障				眼科医
3	糖尿病性網膜症				眼科医
4	耳疾患について				耳鼻科医
5	咽頭疾患について				耳鼻科医
6	気管切開について				耳鼻科医
7	皮膚科総論 (構造と機能) 外用療法、湿疹、皮膚炎				皮膚科医
8	アレルギー I～IV型 アトピー性皮膚炎 アナフィラキシー				皮膚科医
9	膠原病 皮膚疾患 (ウイルス性・細菌性)				皮膚科医
10	皮膚真菌症 STD 母斑 皮膚悪性腫瘍				皮膚科医
11	形成外科について				形成外科医
12	歯科口腔外科病態				口腔外科医
13	歯周炎と全身疾患				口腔外科医
14	口腔癌				口腔外科医
15	口腔粘膜疾患				口腔外科医
評価方法	終講試験 100%				
参考文献資料	ナーシンググラフィカEX疾患と看護⑥目/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚, メディカ出版				
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
微生物学		1	30	15	試験1回

学習 目標	生態に影響を及ぼす病原微生物について理解し、医療従事者としての感染予防と管理能力のための知識を習得する。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	微生物学総論	講義		
2	滅菌と消毒	講義		
3	抗菌薬と薬剤耐性	講義		
4	自然免疫	講義		
5	獲得免疫	講義		
6	グラム陽性球菌感染症	講義		
7	呼吸器感染症	講義		
8	経口感染①	講義		
9	経口感染②	講義		
10	ウイルス①肝炎	講義		
11	ウイルス②インフルエンザ	講義		
12	性感染症	講義		
13	真菌感染症	講義		
14	スタンダードプリコーション	講義		
15	実習 顕微鏡観察	演習		
評価 方法	終講試験 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料	ナーシンググラフィカ疾病の成り立ち③臨床微生物・医動物, メディカ出版			
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
臨床栄養学		1	15	7	試験1回

学習 目標	生態栄養学を基礎に、臨床における栄養と食事療法の実際を理解する。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	臨床栄養学の基礎知識	講義		
2	日本人の栄養摂取基準、栄養アセスメント	講義		
3	人生各期における健康生活と栄養	講義		
4	病院における栄養基準、3つの栄養方法について	講義		
5	周術期、がんの食事療法	講義・ 演習		
6	糖尿病の食事療法	講義・ 演習		
7	腎臓病の食事療法	講義・ 演習		
8	試験			
評価 方法	終講試験 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料	ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進④臨床栄養学, メディカ出版			
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数 (試験)	
薬理学		1	30	15	試験1回

学習目標	薬物療法の原理、原則を学び代表的な薬物の作用機序・特徴・人体への影響について理解する。				
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師		
1	医薬品総論 その1	講義			
2	医薬品総論 その2	講義			
3	医薬品総論 その3 主な生活習慣病に使用する薬	講義			
4	主な生活習慣病に使用する薬	講義			
5	主な生活習慣病に使用する薬	講義			
6	がん、痛みに使用する薬	講義			
7	がん、痛みに使用する薬 脳・中枢神経疾患で使用する薬	講義			
8	脳・中枢神経系で使用する薬	講義			
9	感染症に使用する薬	講義			
10	救命救急に使用する薬	講義			
11	アレルギーに使用する薬	講義			
12	消化器系疾患に使用する薬	講義			
13	その他の症状に使用する薬	講義			
14	その他の症状に使用する薬	講義			
15	試験 まとめ	講義			
評価方法	終講試験 100%				
評価基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)				
参考文献資料	ナーシンググラフィカ疾病の成り立ち②臨床薬理学, メディカ出版				
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
リハビリテーション医学		1	15	7	試験1回

学習 目標	リハビリテーションの概念を知り、障害に応じたリハビリテーションを受ける人への看護を展開できる基礎的知識を取得する。 職業生活の継続をはかるため、就労と疾病コントロールの両立を支援する勤労者医療の基礎的知識を取得する。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	リハビリテーション総論	講義		
2	脊髄損傷のリハビリテーション	講義		
3	脊髄損傷の合併症と両立支援	講義		
4	嚥下障害のリハビリテーション	講義		
5	脳卒中のリハビリテーション	講義		
6	脳卒中回復期のリハビリテーション	講義		
7	運動器のリハビリテーション	講義		
8	試験			
評価 方法	終講試験 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料	QOLを高めるリハビリテーション看護, 医歯薬出版			
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数 (試験)	
特殊治療学		1	30	15	試験1回

学習 目標	疾病の回復を促進するために必要な治療・処置・検査に関連した基礎的知識を習得する。 医療機器を安全に取り扱うための基礎的知識を習得する。				
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師		
1	麻酔について	講義	麻酔科医師		
2	麻酔、酸素について	講義			
3	体液、栄養の管理・調節	講義			
4	輸血療法 ICLS	講義			
5	検体検査について	講義	臨床検査技師		
6	生理検査について	講義			
7	医療被曝、MRI、安全管理	講義	放射線科医 診療放射線 技師		
8	放射線療法① 放射線医学の基礎	講義			
9	放射線療法② CT PETなど	講義			
10	放射線療法③ リニアック、血管内治療	講義			
11	放射線療法④ 放射線治療と副作用	講義	臨床工学士		
12	ME機器について (医療ガス、シリンジ・輸液ポンプ、パルスオキシメーターなど)	講義			
13	ME機器について (透析療法)	講義			
14	ME機器について (人工呼吸器 心電図モニター)	講義・ 演習	専任教員		
15	検査・治療における医療の安全	講義・ 演習			
評価 方法	終講試験 100%				
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)				
参考 文献 資料	系看専門1 基礎看護学 (4) 臨床看護総論、医学書院 系看別巻臨床外科総論、医学書院				
備考					

授業科目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数(試験)	
メンタルヘルスマネジメント		1	15	7	試験1回

学習目標	勤労者の職場におけるメンタルヘルスの現状と対策を学び、勤労者の看護に活用する能力を養う。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	働く人のメンタルヘルスの現状理解	講義		
2	ストレスの理解とストレスコーピング	講義		
3	メンタルヘルス支援者に必要な基本的構え	講義		
4	パーソナリティ診断を用いて支援者としての傾向を知る	講義・演習		
5	働く人のメンタルヘルスに役立つ心理ケア～認知行動療法～	講義・演習		
6	メンタル不調者への成長の支援～コーチング的関り～	講義		
7	メンタルヘルス支援者としての今後の歩みとコミットメント	講義		
8	試験			
評価方法	終講試験 100%			
評価基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考文献資料				
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
臨床判断過程		1	15	7	試験1回

学習 目標	病理学総論、病態生理学、微生物学、臨床栄養学、薬理学等の知識を活用し、症状や状態の機序や成り行きを論理的に解釈できる能力を養う。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	臨床推論と臨床判断	講義		
2	事例1 炎症症状がある場面	講義・演習		
3	グループワーク 発表	講義・演習		
4	事例2 神経症状がある場面	講義・演習		
5	グループワーク 発表	講義・演習		
6	事例3 痛みのある場面	講義・演習		
7	グループワーク 発表	講義・演習		
8	課題レポート			
評価 方法	課題評価 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料				
備考				



授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
医療学		1	15	7	試験1回

学習 目標	医療と看護の原点を学び、現代医療をめぐる諸問題について理解する。			
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師	
1	ワークショップとKJ法	講義・演習		
2	勤労者医療	講義・演習		
3	保険制度と現代医療	講義・演習		
4	救急医療と災害医療	講義・演習		
5	医療安全と災害対策	講義・演習		
6	医学史と今後の展望	講義・演習		
7	プロフェッショナリズム	講義・演習		
8	試験			
評価 方法	終講試験 100%			
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)			
参考 文献 資料	看護学生のための医療概論, 医学書院			
備考				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
公衆衛生学		1	30	15	試験1回

学習 目標	健康に関する社会の動向を捉え、健康生活を送るための諸条件や環境要因、組織的な保健対策と保健行政を学ぶ。				
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師		
1	公衆衛生のしくみ	講義	保健センター長		
2	行政が行う保健活動の概要	講義			
3	産業保健活動の取り組み	講義	院外講師		
4	産業保健活動の取り組み	講義			
5	産業保健活動の体験的理解	講義			
6	産業保健活動の体験的理解	講義			
7	産業保健活動のまとめと振り返り	講義			
8	公衆衛生とは	講義	専任教員		
9	疫学と健康教育	講義・演習			
10	健康教育 計画立案	講義・演習			
11	健康教育 教育活動計画書	講義・演習			
12	健康教育の実施と評価	講義・演習			
13	公衆衛生の実際 (名古屋市食品衛生検査所見学)	講義・演習			
14	公衆衛生の実際 (名古屋市食品衛生検査所見学)	講義・演習			
15	試験とまとめ	講義			
評価 方法	終講試験 100%				
評価 基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)				
参考 文献 資料	ナーシンググラフィカ健康支援と社会保障②公衆衛生, メディカ出版 国民衛生の動向				
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数 (試験)	
社会福祉		1	30	15	試験1回

学習目標	社会福祉の理念とその対策を学び、看護に活用できるための基礎的知識を習得する。				
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師		
1	福祉制度と福祉施策	講義			
2	社会福祉の歴史	講義			
3	社会福祉の法制度、組織と実施体制	講義			
4	社会保障制度①	講義			
5	社会保障制度②	講義			
6	社会保障制度③	講義			
7	生活保護制度と生活困窮者支援	講義			
8	高齢者福祉と介護保険制度①	講義			
9	高齢者福祉と介護保険制度②	講義			
10	障がい者福祉	講義			
11	児童家庭福祉に関する法制度	講義			
12	ソーシャルワークの理論と方法	講義・演習			
13	地域包括ケアシステム、地域共生社会の構築、多職種連携	講義・演習			
14	事例検討	講義・演習			
15	まとめ 試験	講義			
評価方法	終講試験 100%				
評価基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)				
参考文献資料	ナーシンググラフィカ健康支援と社会保障③社会福祉と社会保障, メディカ出版 国民の福祉と介護の動向				
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数 (試験)	
関係法規		2	30	15	試験1回

学習目標	医療従事者を取り巻く法律を学び、専門職業人として必要な法律と自己の責任について理解する。				
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師		
1	法の概念 衛生法と厚生行政のしくみ	講義			
2	保健師助産師看護師法	講義			
3	医療関係資格法	講義			
4	保健医療福祉資格法	講義			
5	労働基準法	講義			
6	労働基準法 育児休業、介護休業または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 看護に等の人材確保の促進に関する法律	講義			
7	労働安全衛生法、労働災害等事故時の医療に関する法律	講義			
8	災害時の医療に関する法律	講義			
9	医療法	講義			
10	医療法	講義			
11	医療法	講義			
12	医療法	講義			
13	薬事	講義			
14	医療過誤による責任	講義			
15	医療過誤による責任	講義			
評価方法	終講試験 100%				
評価基準	A : 80点以上 B : 70点以上80点未満 C : 60点以上70点未満 D : 60点未満 (不合格)				
参考文献資料	ナーシンググラフィカ 看護をめぐる法と制度④ 健康支援と社会保障④看護をめぐる法と制度, メディカ出版				
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数(試験)	
勤労者医療		1	30	15	試験1回

学習目標	勤労者医療の基礎を学び労災病院における看護の特徴を理解する。				
回数	学 習 内 容	学習方法	担当講師		
1	産業保健とは 労働衛生の現状	講義	院外講師		
2	労働衛生の管理	講義			
3	健康診断について	講義			
4	健康教育	講義・演習			
5	健康教育	講義・演習			
6	健康教育	講義・演習			
7	職業性疾病について	講義	専任教員		
8	勤労者看護の実践と必要となる情報	講義			
9	勤労者看護事例演習①	講義・演習			
10	勤労者看護事例演習②	講義・演習			
11	労災病院における勤労者看護の実際	講義	看護師(勤労者看護担当)		
12	糖尿病患者の両立支援	講義			
13	がん患者の両立支援、両立支援コーディネーターについて	講義			
14	産業の場における健康管理(UACJ見学)	講義・演習	専任教員		
15	まとめ 試験	講義			
評価方法	終講試験 100%				
評価基準	A:80点以上 B:70点以上80点未満 C:60点以上70点未満 D:60点未満(不合格)				
参考文献資料	勤労者医療概論. 独立行政法人労働者健康安全機構勤労者医療に関する看護プロジェクト編 職場の健康がみえる, メディックメディア				
備考					